

# 江差線10駅 最後の夏

## 6 宮越



上ノ国町内を流れて日本海に注ぐ清流天の川。そのほとりにはある宮越駅と湯ノ岱駅との7・1km区間は江差線沿線で一番の景色が楽しめる。

# 天の川沿線一の絶景

しめる。

蛇行する天の川に架かる二つの鉄橋を列車が「ゴー」た鉄橋と白を基調にした列車の川橋りょうで、宮越駅側が「第2天の川橋りょう」。

■メモ 上ノ国町早瀬、1964年12月30日開業。開業当時から駅員がいない無人駅でホームに木造駅舎がある。木古内駅からは28・5分。天の川に架かる二つの鉄橋は湯ノ岱駅側が「第1天の川橋りょう」で、宮越駅側が「第2天の川橋りょう」。



②山小屋を思わせる宮越駅舎  
③天の川にかかる鉄橋を渡る列車  
④モニュメントとして設置された「天ノ川駅」を通過する車両



が列車が目の前を通過するの心残りだった。江差線様子を染しんだ。東京都世田谷区の薬剤師白坂和子さん(50)は「以前から訪れてみたかった。来年になくなってしまうけど、夢があった」と笑顔を見せた。鉄橋付近の渓谷は紅葉の名所でもある。今秋には鉄道ファンだけでなく大勢の観光客でにぎわいそうだ。

9月18日には同倶楽部が、JR江差線から「天ノ川駅」などを巡るバスを運行した。大勢の鉄道ファン

と音を響かせながら渡ると、車のコントラストが美しいのが心残りだった。江差線様子を染しんだ。東京都世田谷区の薬剤師白坂和子さん(50)は「以前から訪れてみたかった。来年になくなってしまうけど、夢があった」と笑顔を見せた。鉄橋付近の渓谷は紅葉の名所でもある。今秋には鉄道ファンだけでなく大勢の観光客でにぎわいそうだ。